

名大生の実態調査

名大生は普段どんな生活を送っているのだろうか？

そんな疑問にお答えして、学生生活についてのアンケート結果をまとめてみました。

※本資料は**2020年度**に行われたアンケート結果を参考に作成されております。

出典：学生生活状況調査報告書（第28回）

調査概要

調査対象：

2020年12月1日時点で学部及び大学院に在籍している全学生
(休学及び留学中の者を除く)

調査方法：

調査専用Webページによる

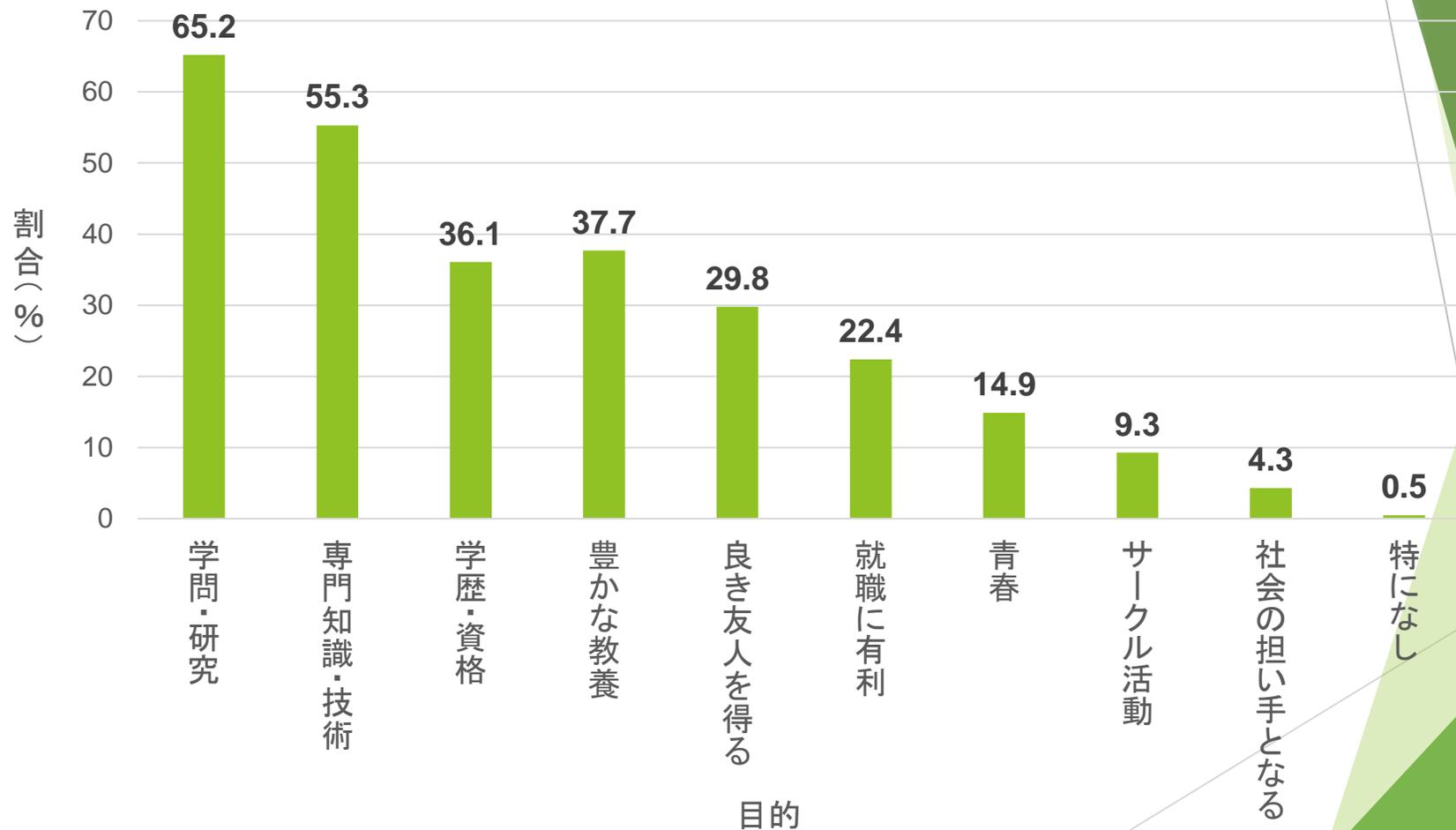
調査期間：

2020年12月1日～2021年2月24日

回収率：

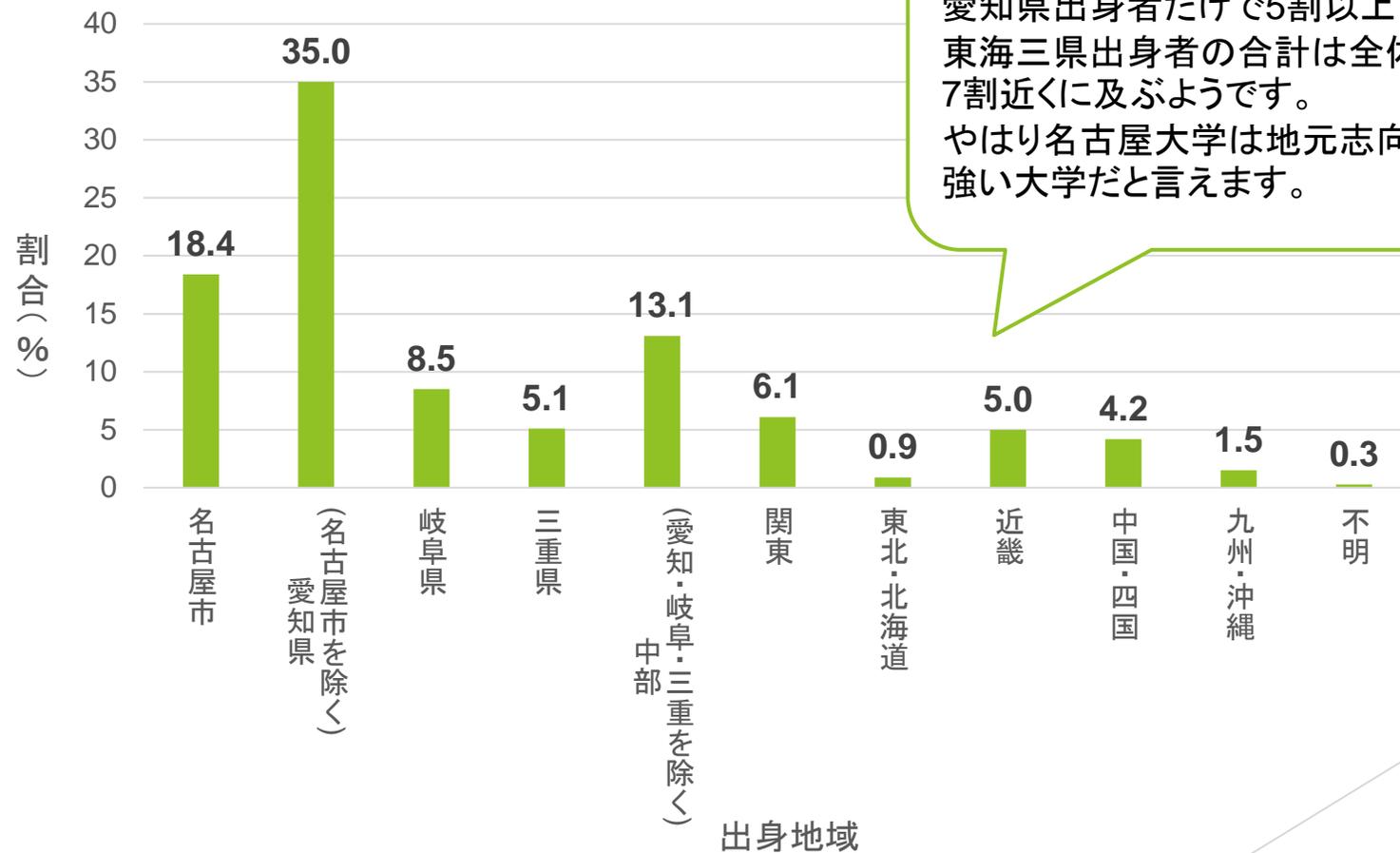
学部生71.1%

大学生生活の目的



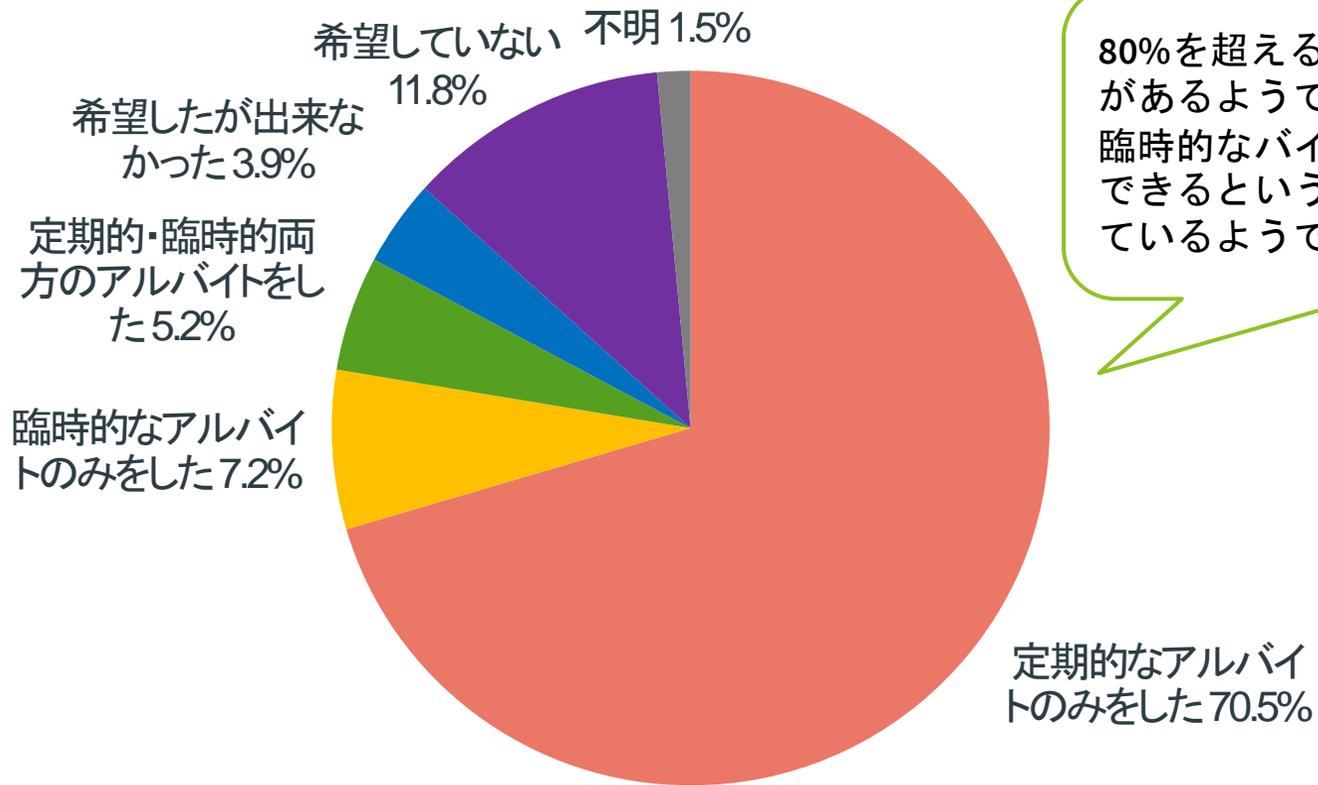
p.26 “図8 大学生生活の目的（学部）”より作成

出身地域



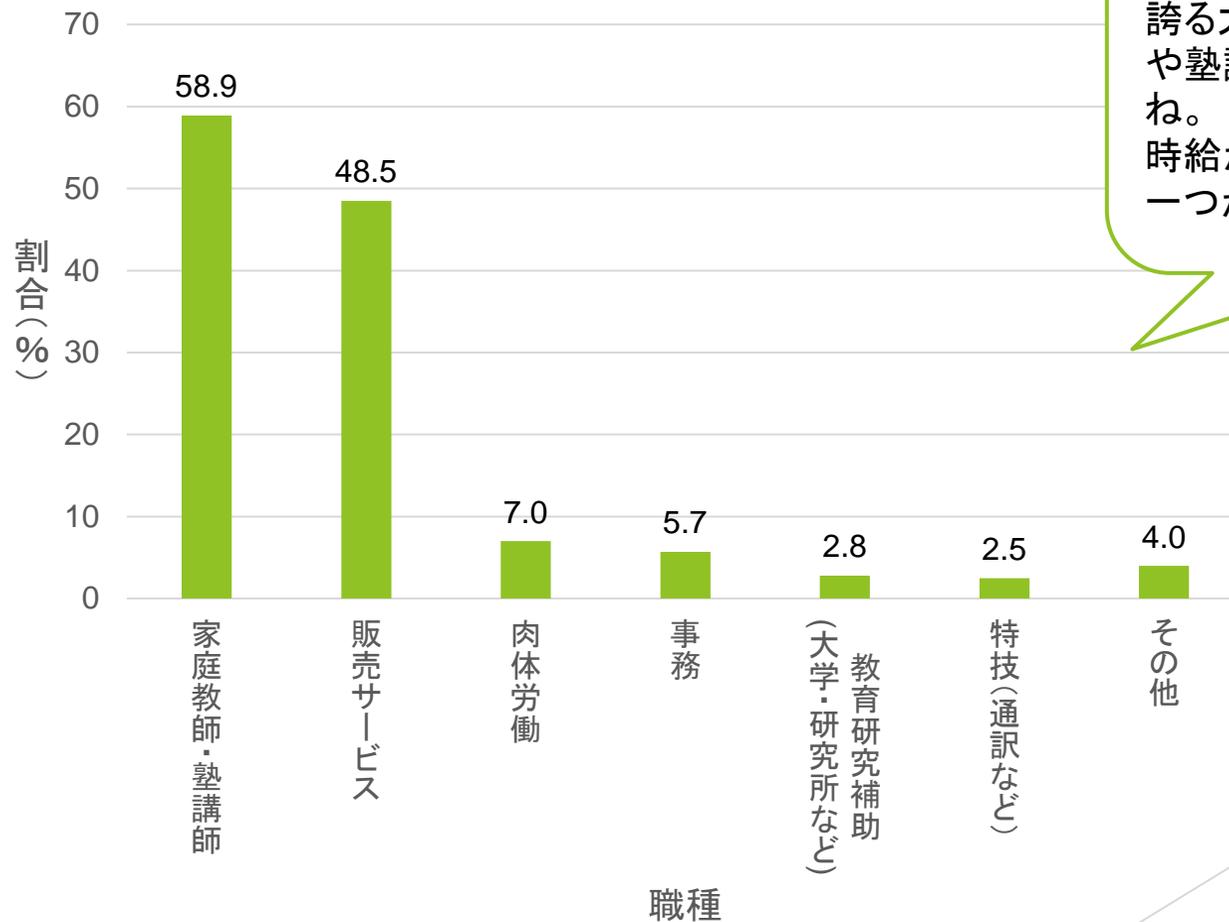
愛知県出身者だけで5割以上、
東海三県出身者の合計は全体の
7割近くに及ぶようです。
やはり名古屋大学は地元志向の
強い大学だと言えます。

アルバイトへの従事状況



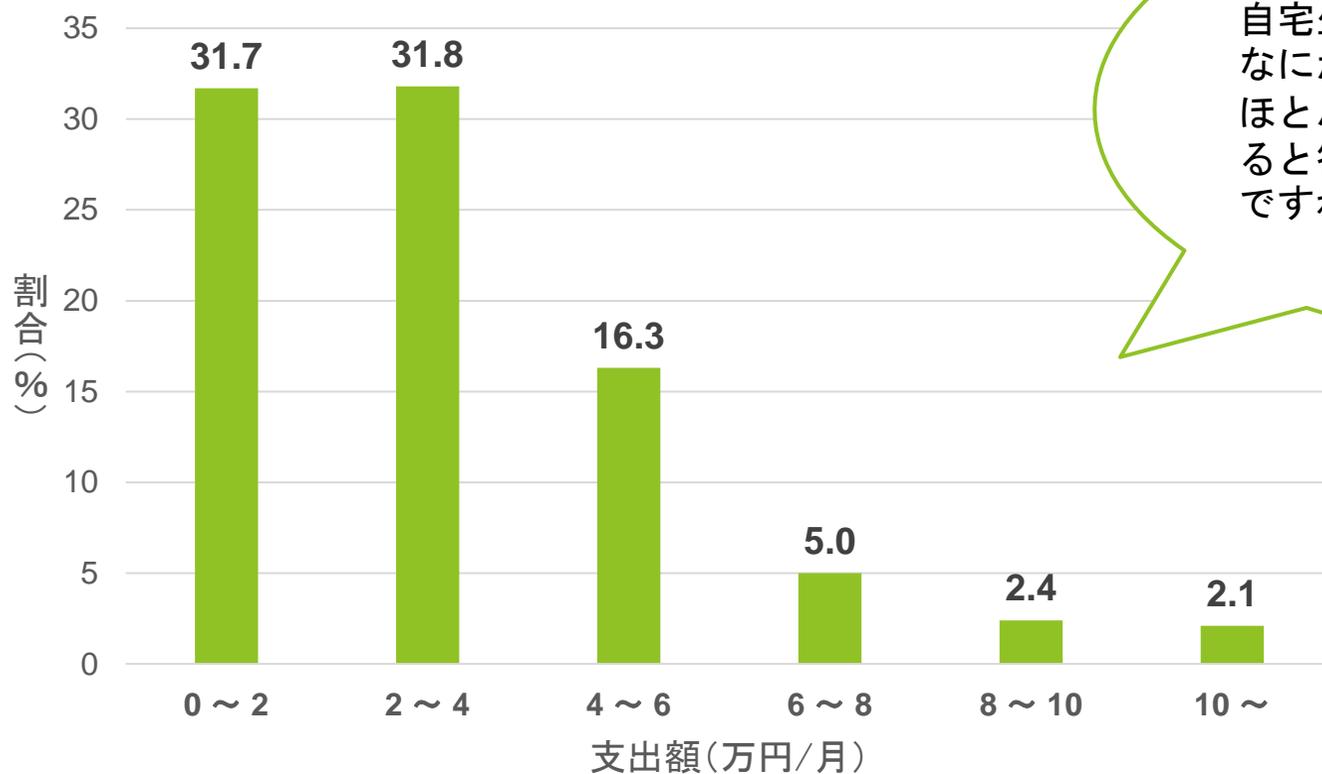
80%を超える人がバイトをした経験があるようです。
臨時的なバイトも空いた日に気軽にできるということで12%もの人がしているようですね。

アルバイトの職種



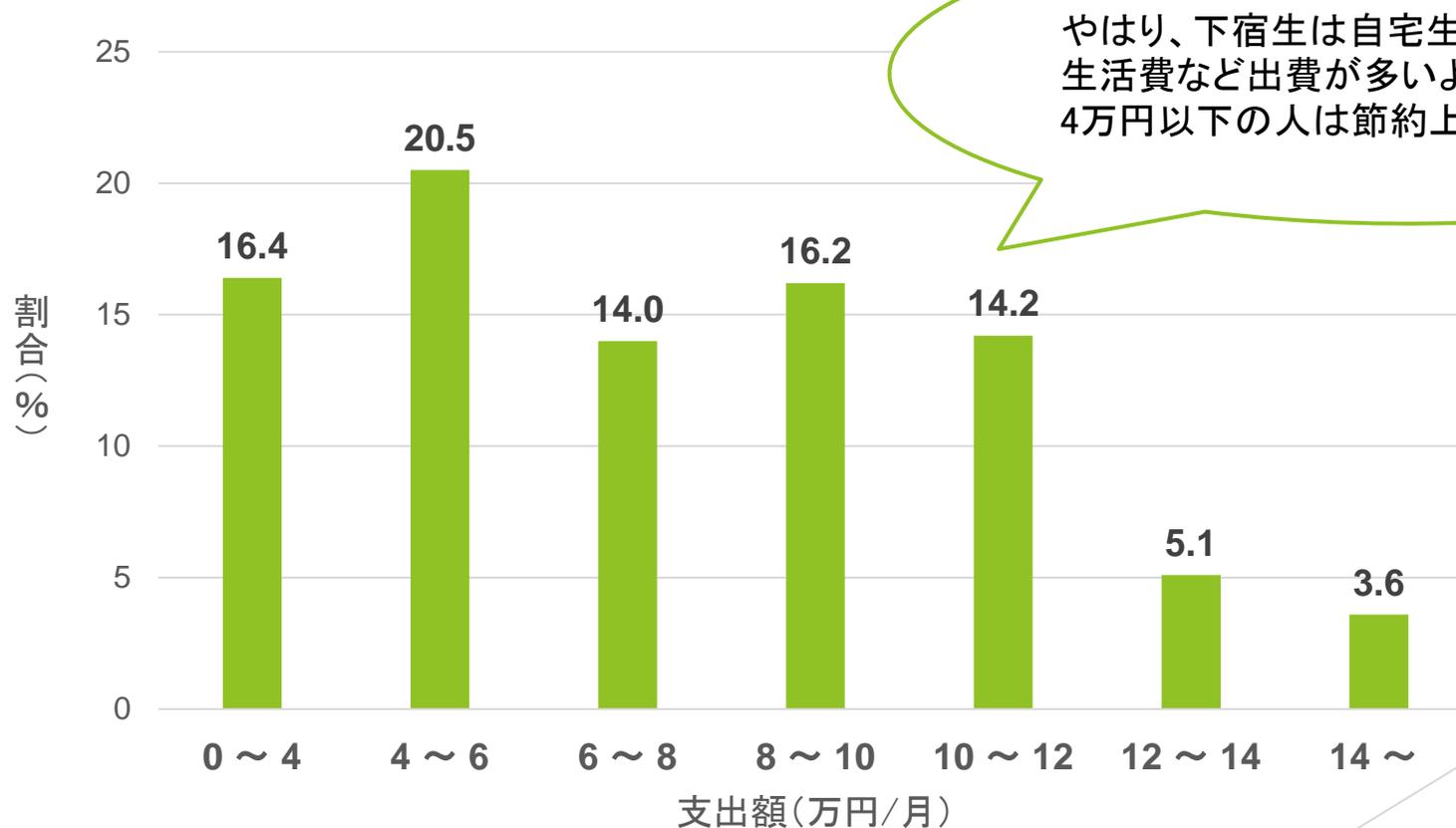
東海地方トップクラスの学力を誇る大学だけあってか、家庭教師や塾講師をする人が多いようです。時給が高いことも人気の理由の一つかもしれません。

月平均支出合計（自宅生）



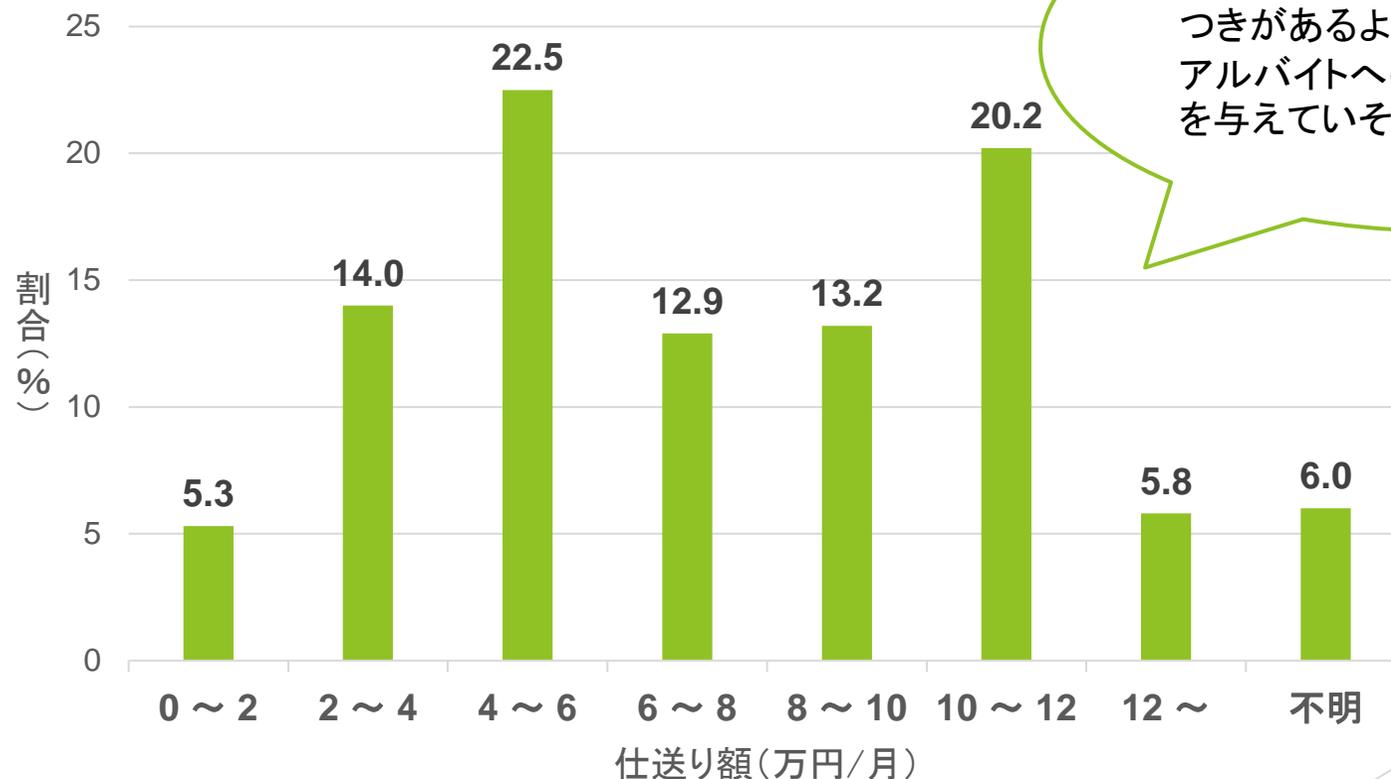
自宅生といえども大学生活にはなにかとお金がかかるようです。ほとんどの人がバイトをしていると答えたのもうなずける結果ですね。

月平均支出合計（下宿生）



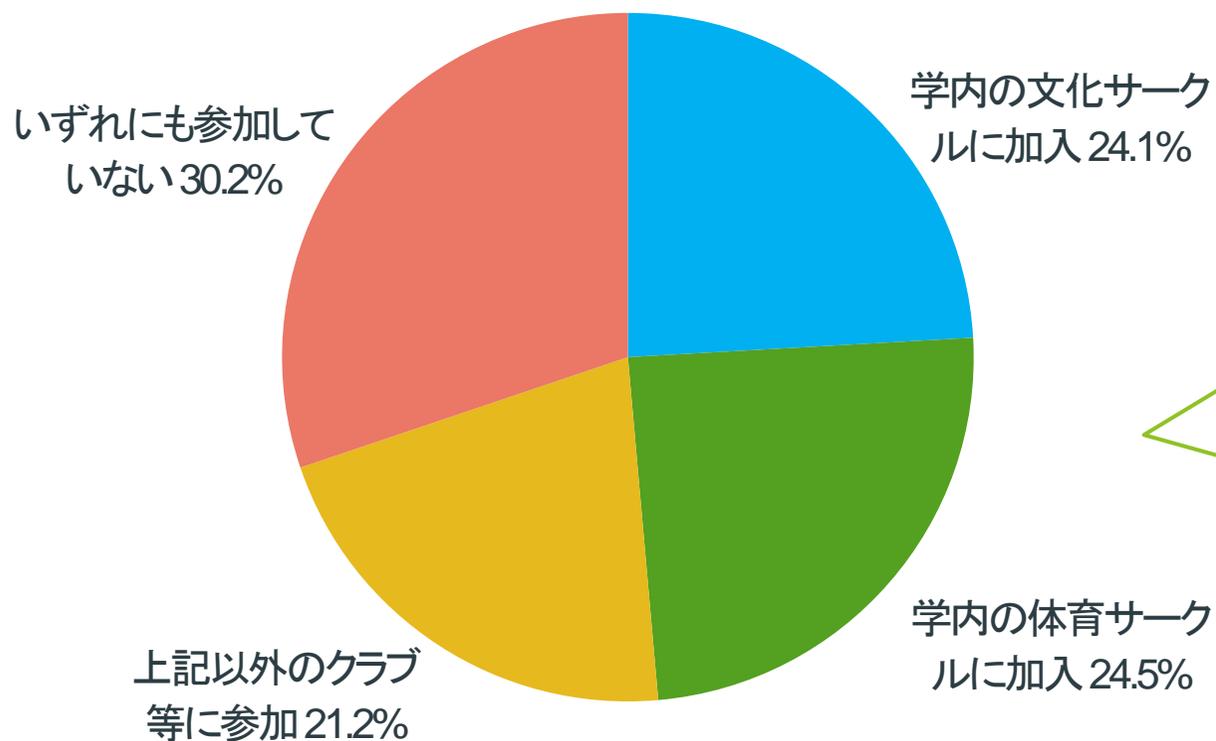
やはり、下宿生は自宅生に比べて食費や生活費など出費が多いようです。4万円以下の人は節約上手ですね。

家庭からの仕送り額（下宿生）



家庭によって仕送りの額にばらつきがあるようです。
アルバイトへの従事状況も影響を与えていそうですね。

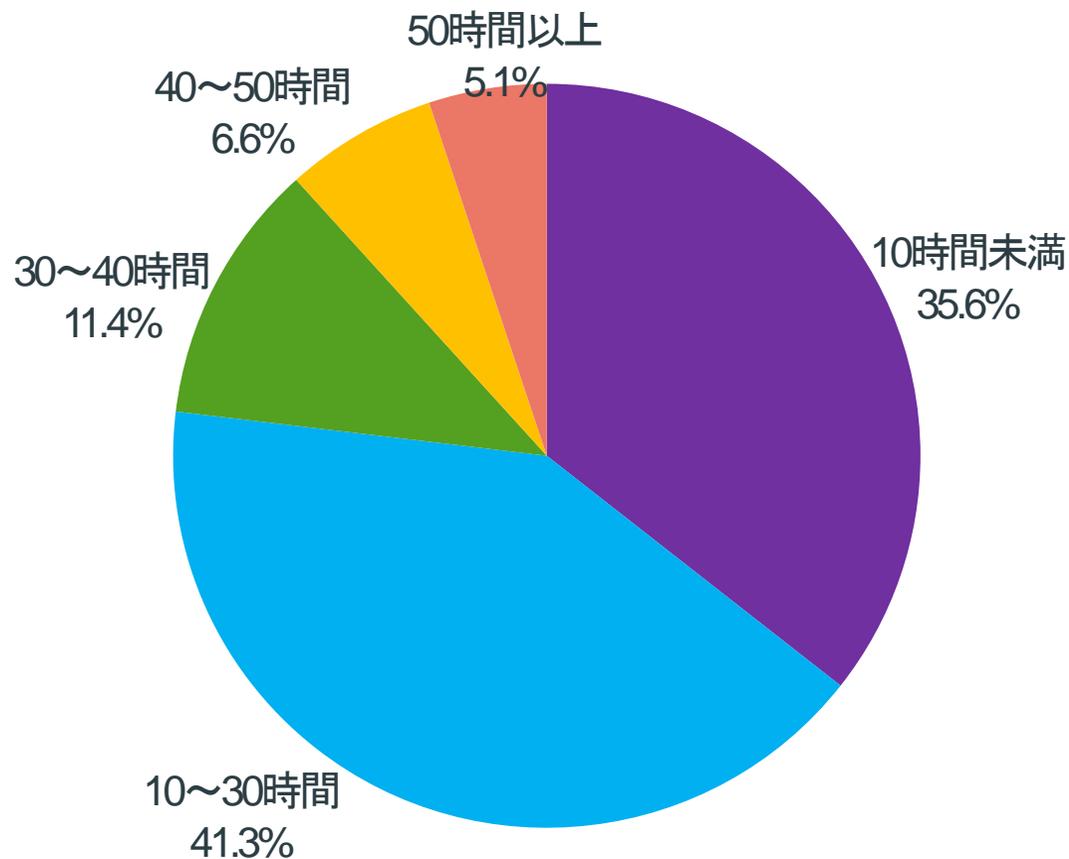
サークル加入状況



意外なことに30%の人が現在サークル活動をしていないようです。

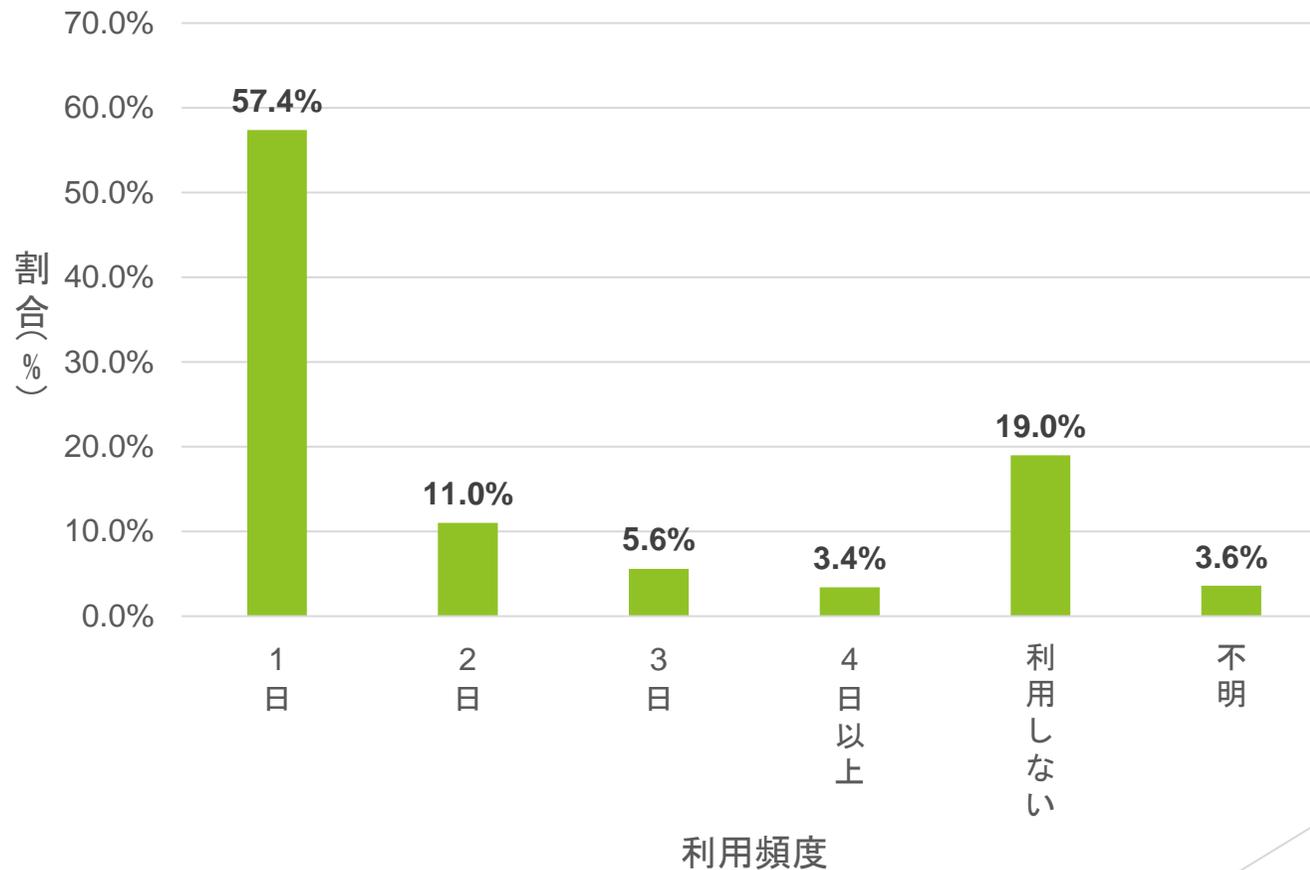
大学生といえばサークル・部活といった印象も強いですが、勉強等それ以外のことに打ち込んでいる人も多いようです。

1週間当たりの平均勉強時間



ある程度の勉強時間を確保している人が多いようです。
学部や履修している授業によって差があるかもしれません。

1週間の図書館利用回数



授業がない時間に過ごす場所

